

令和 8 年熊本地震 災害派遣福祉チーム 活動要綱

1. 目的

本要綱は、令和 8 年熊本地震において、災害派遣福祉チーム（DWAT）の活動体制、基本方針、および業務内容を定め、派遣部隊が安全かつ効果的に福祉支援活動を行うことを目的とする。

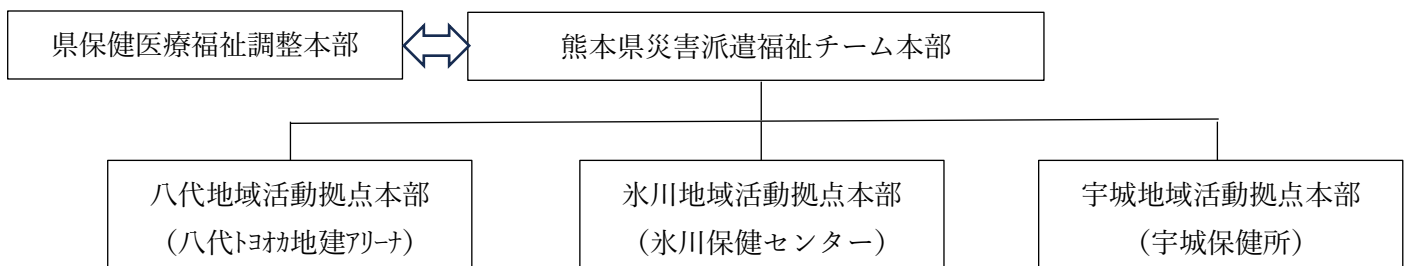
2. 活動概要

活動期間：令和 8 年 7 月 29 日（水）～

活動対象地域：八代市、宇城市、氷川町

活動場所：各市町村指定避難所・福祉避難所および在宅、車中泊

3. 組織体制（8/3 時点）



4. DWAT の基本活動方針

【目指すゴール】

避難者が生活の「役割」と「自発性」を取り戻し、その方にとって最適な場所へ復帰・移行すること。

支援にあたっては、単なる一時的な生活介助にとどまらず、以下の 3 点を意識して活動する。

● 避難者一人ひとりの権利保障

避難所においても人権が尊重され、人間らしい生活を営むことができるよう適切な支援を行う。また、避難所にとどまらず、在宅や住み慣れた地域での生活へ安全・スムーズに戻るための継続的な支援を行う。

● 「出口（帰るべき場所）」を見据えたアセスメント

単に避難所でのアセスメントにとどまることなく、「この方が本来行くべき場所はどこか」を常に念頭に置いて生活課題を抽出し、生活再建へのロードマップを描く。

● 身体・生活能力（ADL/IADL）の維持と生活不活発病の予防

長期避難による身体機能低下を防ぐため、避難所内での役割作りや活動性の向上を図る。感染症予防（消毒・換気・体調管理）を徹底し、健やかに次へのステップへ進める状態を維持する。

● 多職種連携による包括支援

他専門チームや行政と密に連携し、個々の避難者の課題に応じた多角的なアプローチを行う。

5. 重点目標

① 一般避難所におけるラピッドアセスメント（迅速調査）の完了

- ✓ 目標：8月9日までに、八代市・宇城市・氷川町の全指定避難所に滞在する要配慮者を把握し、初期リスクのスクリーニング（ラピッドアセスメント）を完了する。
- ✓ 即時対応：アセスメントの過程で、緊急的な福祉ニーズや環境整備が必要と判断された場合は、その場で可能な個別対応（車椅子の手配、プライバシー確保の助言、簡易的な生活環境調整など）を即座に実施する。

② 福祉避難所における運営支援・直接支援

現在各地域で立ち上がっている「福祉避難所」に入り、特別な配慮が必要な避難者（高齢者、障がい者、乳幼児等）の生活支援・ケアプランの調整・運営サポートを行う。

6. 派遣決定後の流れについて

- ① **熊本県 DWAT の方は**熊本地震ポータルサイトより、書式（熊本県 DWAT 派遣フェイスシート）をダウンロード
HP：<https://riddell-wright.com/r08kumamotoearthquake/>

熊本県 DWAT 派遣フェイスシートを、木村（kimura@riddell-wright.com）にメールで送信する。

- ② 本要綱に目を通す。

- ③ 夕方(17:00)の ZOOM 会議に出席する

（※他県への引継ぎ、拠点からの報告を行う会議です。）

ID：822 3950 4071

Pass：495508



夕方(17:00)の ZOOM 会議

- ④ LINE オープンチャットへ参加する。



熊本災害派遣福祉チーム本部

LINE オープンチャット

【パスワード kumafuku】

- ⑤ 個人の私物を準備する。

（各県 DWAT ビブス、動きやすい服装、着替え、タオル、マスク、上履き、上着、軍手や作業用手袋、運転免許証、保険証、筆記用具、携帯充電器.etc）

※常備薬や身の回り品等は各自でご用意ください。

※朝晩は暑いので、熱中症対策を心がけてください。

- ⑥ 前日は十分な睡眠をとる。

7. 派遣日当日の流れについて

- ① 各派遣地域拠点（八代拠点、宇城拠点）に 10 時までに到着してください。

※到着が遅れる場合には各拠点担当者に連絡してください。

- ⑦ 拠点到着後、各拠点担当者へ連絡してください。

八代拠点担当者：090-5694-6108、070-7892-5192

宇城拠点担当者：070-7892-5195、070-7892-5194

氷川拠点担当者：070-1262-8837、070-7892-5193

- ⑧ 到着後、拠点担当者が到着するまでお待ちください。

- ⑨ 全派遣者は右記の QR コードで支援者名簿登録してください。

- ⑩ 2 日目からの集合時間や業務内容は、拠点担当者にご確認ください。

<https://forms.gle/r769Z5mczJ7aHNueA>



8. 業務について

- ① 各派遣地域拠点（八代拠点、宇城拠点）に行き各拠点担当者と合流します。
- ② 各拠点担当者、前派遣者から引継ぎ情報を共有し、業務内容を引き継いでください。
- ③ 業務終了後は、当日の日報を下記 google フォームで記録してください。



<https://forms.gle/iMVKkJ1WEXmvQyHs5>

9. 具体的活動内容

(1) 避難所巡回・スクリーニング（ラピッドアセスメント）

- ✓ 避難所内の要配慮者（高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦等）の把握
- ✓ 居住環境の評価（段差、トイレのアクセス、プライバシーの状況）
- ✓ ADL（日常生活動作）低下リスクおよび認知機能低下リスクの早期発見

(2) 個別支援と環境調整

- ✓ 避難所内での簡易手すりの設置・ベッド配置などの生活環境改善
- ✓ 避難者本人ができる役割（清掃、配給の補助等）の創出による自発性の促し
- ✓ 専門的な介護・福祉サービスの導入調整

(3) 多職種チームとの情報共有・連携

- ✓ 医療班：急変リスクのある方や医療依存度の高い要配慮者の情報共有・引き継ぎ
- ✓ 保健師：避難所全体の衛生管理、感染症対策、精神保健（メンタルヘルス）に関する連携

10. 派遣最終日の流れについて

- ① 次派遣者に引継ぎ情報を共有し、業務内容を引き継いでください。
- ② 最終日は安全第一で帰省してください。